

一 読み

/12

二 画数

/4

三 送りがな

/5

四 熟語の構成

/6

五 部首

/6

六 対義語

/6

七 書き取り

/16

合計

/55

合格のめやす

39問(7割)

一 線の漢字の読みを、ひらがなで書きましょう。

① 会社の株をもつ。

② 右手でえんぴつをもつ。

③ しずかに読書をたのしむ。

④ 年賀状を書く。

⑤ 父が出張に行く。

⑥ 公衆電話を使う。

⑦ とてもかなしくて泣く。

⑧ 頭脳を使うゲームをする。

⑨ みんなのいけんに賛成する。

⑩ 高い山脈がつらなる。

⑪ 今日の体育はドッジボールだ。

⑫ 一、二、三のような字を漢数字という。

二 次の漢字は、何画で書きますか。数字で書きましょう。

① 衣 画② 考 画③ 本 画④ 司 画

三

——線のことばを、漢字一字と送りがなで書きましょう。

れい

くるまがとまる。

止まる

① たなの上の本をとる。

② よわい雨がしとしとふる。

③ ともだちがあそびにくる。

④ おかねがたりる。

⑤ 体重がへる。

四

次の熟語の組み立ては、「」の「ア」～「エ」のどれにあたりますか。記号で書きましょう。

ア 同じような意味の漢字を組み合わせたもの(れい 岩石)

イ 反対や対になる意味の漢字を組み合わせたもの(れい 左右)

ウ 上の漢字が下の漢字をくわしくしているもの(れい 青空)

エ 下の漢字が「く」を「く」に「に」にあたるもの(れい 読書)

① 最初

--

② 新芽

--

③ 採点

--

④ 正誤

--

⑤ 善悪

--

⑥ 夫婦

--

五

部首がつく漢字を□に書きましょう。□の右は読みです。

れい

イ
(にんべん)休
やす
む

禾

(のぎへん)

①

類
しゅ

②

面
せき

頁

(おおがい)

③

山
ちよう

④

金
よ

冫

(こざとへん)

⑤

危
けん

⑥

かぎ
る

六

反対の意味のことを「**く**」「**から**」
えらんで漢字で書きましょう。

れい

大きい ⇄ 小さい

「わたくし おうふく けんり つめたい だんぞく
こうたい」

①

公 ⇄

②

片道 ⇄

③

連続 ⇄

④

前進 ⇄

⑤

義務 ⇄

⑥

温かい ⇄

七

——線のことばを、漢字で書きましよう。

① たいらな道を歩く。

② 体の中をちがながれている。

③ かみがみだれる。

④ ともだちと本をよむ。

⑤ たけでかごをつくる。

⑥ 公園でこどもが遊ぶ。

⑦ みちがわからなくてこまる。

⑧ にんぎょうにふくをきせる。

⑨ めずらしいこうせきを見つける。

⑩ あまいなしを食べる。

⑪ じたくに帰る。

⑫ 理科のじかにじっけんをする。

⑬ しずかなところで本を読む。

⑭ 大きなしろが見える。

⑮ しんぞうのうごきをしらべる。

⑯ スープからゆげが上がる。

